町長の独白

コロナ以後の世界

いつの間にか進んでいるコロナの常態化の中で、だんだんと自分たちが取り組むべきはなにかを考え始める傾向が表れ始めました。

そうです、私たちはいつまでも悲嘆に明け暮れているわけにはいかないのです。しっかりと前を向いて今できることはなにかを問い続けなければなりません。

これからはインフルエンザとコロナが同時多発することも予想され、基本的には基礎体力と免疫力の向上で当面をしのぎつつ、ワクチンや治療薬の開発を待つ以外にはなさそうですが、これまでの三密対策など、主要な対策の見直しや持続可能な新しい生活の構築に向けたプランを試行錯誤する段階になりつつあります。

例えば三密対策ですが、島の人同士なら逆に無菌者同士としてそこまで神経質になる必要はないとも考えられます。東京中心に制度設計されたものに対して瀬戸内海の島社会にそのまま適合させるのは多少難があると思います。島では不特定多数の人たちが入り混じる場面は極めて稀です。他地域、特に都市部からの不特定多数の島外者との接触に対して厳重に警戒すれば、それだけでも一番効果のある水際対策となるのではないでしょうか。

日常生活に至っては、普段からの生活そのものが最高のコロナ対策となっていると思います。自給自足に近い豊富な地域食材と季節ごとに彩られた料理は免疫力向上の要です。特に多種多様な柑橘類や果物はバランス栄養の宝庫です。

生活のリズムも重要です。月の満ち欠け、潮の満ち引き、季節の移ろい、これらにドップリ身を委ねているとストレスなんか雲散霧消です。これが本来の生き物として必要なリズムだと思います。こんな質の高い生活（ＱＯＬ）を維持していれば心身ともにバランスのとれた安定した生活になること間違いなしです。

この際ですから、ご自分の生活内容を島の環境にマッチさせてみませんか。この島で生きているメリットは意外なところに潜んでいるはずです。

上島町長　宮脇　馨

CONTENTS

広報かみじま
2020年11月号　第194号

今月の表紙
「ゆめしま」就航式

2　町長の独白 / 目次
3　上島町決算報告
6　健康だより
8　役場各課紹介 /　島おこし協力隊活動報告
9　LETTERS FROM SCHOOL
10　ALTコーナー / 観光協会だより
11　上島の文芸 / KAMIJIMA KITCHEN
12　しまなみ農業だより
13　防災だより / 消防だより
14　お知らせ
22　島々の話題
24　戸籍だより
25　行事カレンダー / 潮汐表
26　KAMIJIMA SNAP / 潮湯だより

上島町決算報告

令和元年度決算が９月議会定例会で認定されました。

一般会計

【歳入】

	項目	金額	比率	H30
自主財源 1	町税 3	5億6,483万円	8.2%	8.5%
	繰越金	2億14万円	2.9%	1.8%
	その他	7億8,580万円	11.5%	10.6%
依存財源 2	地方交付税 4	36億1,822万円	52.8%	52.8%
	町債	7億9,110万円	11.5%	14.0%
	国庫支出金 5	3億348万円	4.4%	4.9%
	県支出金 5	4億2,590万円	6.2%	5.0%
	その他	1億6,967万円	2.5%	2.4%
歳入合計		68億5,914万円	100.0%	100.0%

歳入

30年度に比べ2,268万円の減額、依存財源は1億3,241万円の減額となりました。

１世帯あたりの町税負担額
146,443円
(▲3,789円)

町民１人あたりの町税負担額
85,193円
(▲1,109円)

その他（自主財源）の内訳

使用料及び手数料　1億4,432万円
寄附金　992万円　繰入金　4億5,000万円
諸収入　1億1,318万円　その他　6,838万円

その他（依存財源）の内訳

6 地方譲与税　2,602万円
地方消費税交付金　1億1,631万円
その他の交付金　2,734万円

用語の説明

1 **自主財源**…町税・手数料・使用料・財産収入・寄附金など、町が独自に調達できる財源
2 **依存財源**…地方交付税のほか国庫支出金・地方譲与税・県支出金など国や県に依存するかたちで調達する財源
3 **町税**…町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税など
4 **地方交付税**…どの市町村でも一定の行政サービスを行えるように国から交付されるお金
5 **国庫（県）支出金**…町が行う事業に対し、必要に応じて国（県）から交付されるお金
6 **地方譲与税**…国税として徴収された後、町に譲与されるお金

【歳出】

	項目	金額	比率	H30
義務的経費 7	人件費	12億4,557万円	18.6%	18.1%
	扶助費 9	2億1,884万円	3.3%	3.2%
	公債費 10	12億3,945万円	18.5%	17.4%
その他の経費	物件費 11	10億7,630万円	16.0%	16.5%
	補助費等 12	3億4,000万円	5.1%	5.0%
	繰出金 13	11億3,760万円	17.0%	16.7%
	その他の経費	2億1,893万円	3.1%	3.1%
投資的経費 8	普通建設事業費等（うち災害復旧事業費）	12億3,319万円（1億251万円）	18.4%（1.5%）	20.0%（1.7%）
歳出合計		67億988万円	100.0%	100.0%

歳出

30年度に比べ2,820万円の増額となりました。

用語の説明

7 **義務的経費**…支出が義務付けられている人件費・扶助費・公債費にかかる経費
8 **投資的経費**…道路の建設など、社会的資本整備に要する経費
9 **扶助費**…高齢者や児童、障がい者などへの支援に要する経費
10 **公債費**…町の借入金の返済にかかる費用
11 **物件費**…町の事業に必要な消耗品や備品、委託料などに要する経費
12 **補助費等**…町から民間や他の地方公共団体に対して交付される現金的給付に要する経費
13 **繰出金**…特別会計の事務事業を補助するため、一般会計から特別会計に支出する経費